

平成 21 年 9 月 9 日

東京消防庁
生活安全課長 清水洋文

これまでの調査審議事項のまとめ（案）への意見について

このことについて、第4回会合（8月19日開催）において提示された、調査審議事項のまとめ（案）について、下記のとおり意見を上げさせていただきます。

記

我が国における心肺蘇生法のガイドラインについては、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会による「救急蘇生法の指針」にて示されています。この指針は2000年、2005年の国際ガイドラインの改訂をうけて、大幅な改訂がなされています。現在のガイドラインと調査審議事項のまとめ（案）にて異なる部分がありますので、以下のとおり修正が必要と考えます。

1 P 52 5行目 ④について

現在のガイドラインでは、反応（意識）のある窒息症例の場合のみ、背部叩打・腹部突き上げ法を行うこととしております。傷病者の反応がなく、ぐったりした場合は心停止に対する心肺蘇生を開始し、胸骨圧迫により異物が除去されるのを狙うとしています。

よって、④は「救急蘇生法の指針 P 46 （2）反応がなくなった場合」を引用すべきと考えます。

2 同ページ ⑤、⑥について

上記1と同様に、⑤と⑥を一つにまとめ、「救急蘇生法の指針 P 58 11）子どもの気道異物除去」を引用すべきと考えます。

3 文献

日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会編（日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修）、改訂3版 救急蘇生法の指針（市民用・解説編）、へるす出版、東京、2006; 48, 58

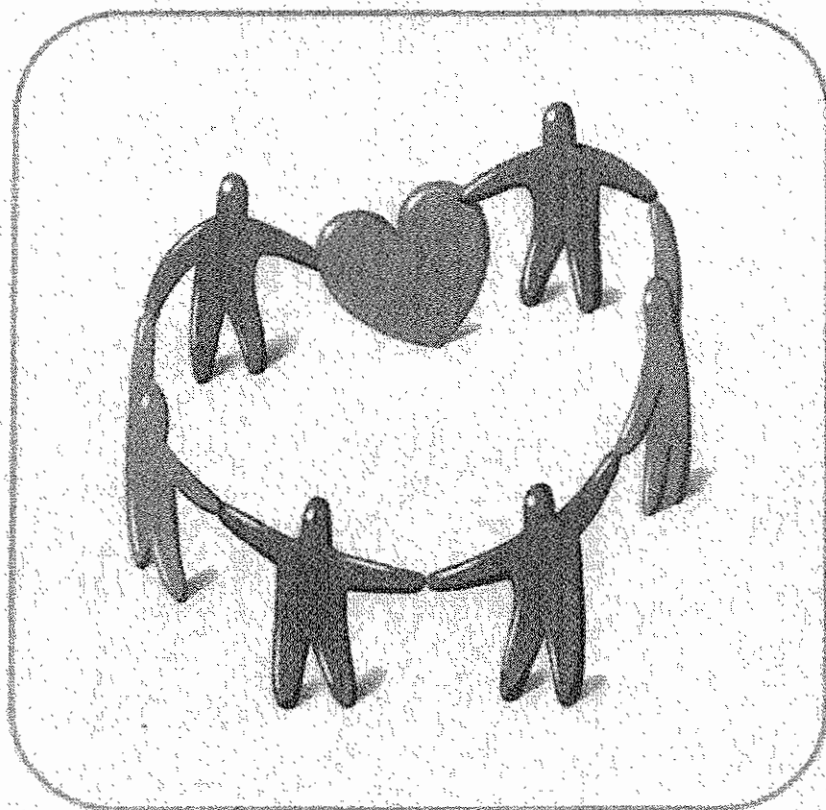
【改訂3版】

救急蘇生法の指針

市民用・解説編

監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会

編著：日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会



へるす出版

●背部叩打法

立位または坐位の傷病者では図27のように、傷病者の後方から手のひらの基部(手掌基部)で左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も連続して叩きます。しかし、成人では背部叩打法は腹部突き上げ法ほど有効ではありません。

注：妊婦（明らかにお腹が大きい場合）や乳児では腹部突き上げ法は行いません。背部叩打法のみ行います。

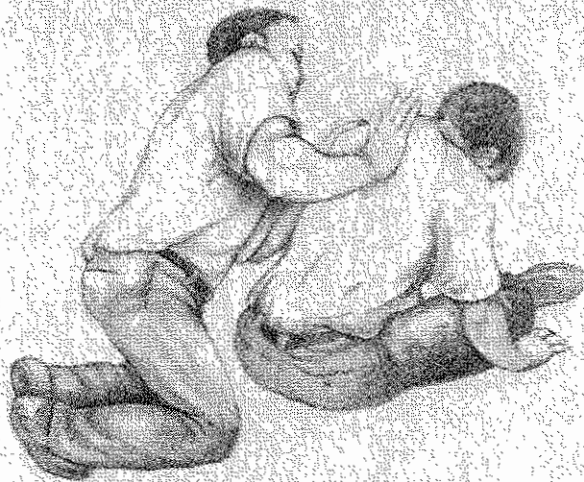


図27 背部叩打法

(2)反応がなくなった場合

傷病者がぐったりして反応がなくなった場合は、心停止に対する心肺蘇生の手順を開始します。救助者が一人の場合は119番通報を行い、AEDが近くにあることがわかっていれば、AEDを自分で取りに行ってから心肺蘇生を開始します。

心肺蘇生を行っている途中で異物が見えた場合は、それを取り除きます。見えない場合にはやみくもに指を入れて探らないで下さい。異物を探すために胸骨圧迫を中断しないで下さい。

11) 子どもの気道異物除去

反応がある場合には、基本的に成人における手順と同じですが、乳児に対しては腹部突き上げ法を行わず、背部叩打法(図33)のみを実施します。この回数は問わず、異物が取れるか反応がなくなるまで続けます。

反応がなくなった場合は、子どもの心肺停止に対して行う心肺蘇生の手順を開始します。救助者が一人の場合、子どもでは、通常的心肺蘇生を約2分間行ったあとに、いったん傷病者の元を離れてでも119番通報します。AEDが近くにあることがわかっていれば、AEDを自分で取りに行ってから心肺蘇生を開始します。ただし、1歳未満の乳児に対してはAEDは使用しません。心肺蘇生を行っている途中で異物が見えた場合は、それを取り除きます。見えない場合にはやみくもに指を入れて探らないでください。また異物を探すために胸骨圧迫を中断しないでください。



救助者の片腕に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えつつ、頭を体よりも低く保ちます。もう一方の手のひらの基部(手掌基部)で背中の真ん中を数回強く叩きます

図33 乳児に対する背部叩打法

本書の文章および図の著作権は日本救急医療財団に帰属する。しかし、救急蘇生法を広く一般に普及させ公共のために貢献する必要があることから、事前に日本救急医療財団の承認を得るか、もしくは引用文献として本書を明記する限りにおいては、本書に記載されている救急蘇生法の方法に関する文章および図版の転用を認める。ただし、本書のすべてを使用することは禁ずる。

[改訂3版]

救急蘇生法の指針 (市民用・解説編)

定 価

(本体価格1,200円+税)

1997年 4月15日	第1版第1刷発行
2000年 6月14日	第1版第4刷発行
2001年 5月30日	第2版第1刷発行
2005年 6月15日	第2版第7刷発行
2006年 6月30日	第3版第1刷発行

監 修 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会
編 著 日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会
発 行 者 岩井 壽夫
発 行 所 株式会社 へるす出版

〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3

TEL 03 (3384) 8035 (営業) 03 (3384) 8177 (編集)

振替・00180-7 175971

印刷所/広研印刷株式会社

落丁本、乱丁本はお取り替えいたします。

<検印省略>

©2006. Printed in Japan

ISBN 4-89269-553-X